

1993年 1月 12日

嶋野 T. 栄道老師老師
ニューヨーク禅堂*正法寺
223 東 67街
ニューヨーク、ニューヨーク10021

最愛の老師様

初めに、貴方から頂いた全てのものに対して、私は感謝し続けるであろうと言う事を、ここで申し上げたいと思います。貴方のお陰で、私は自分の心を更に深く見つめる事が出来るようになりました。貴方のもとの修行して、私は多くを学び、体験いたしました。感謝します、老師様。

大菩薩禅堂滞在中私は、■■■■との関係の事で非常に苦しみました。なんとなく、私達のお互いに接する態度に変化が起きたように思いました。過去、私達は、深く、隠し立てのない、親密で正直な関係を保ってきました。この関係は、愛と、信頼と、思いやりを根本に置いたものでした。この関係は、仏教徒としての真理と戒と、とりわけ貞節を実現したものでした。

大菩薩禅堂での日々、私は■■■■と私との間の変化が理解出来ませんでした。彼女の存在が何となく隔たって見えたのです。多くの事で、共に分かち合うことが無くなり、話し合う事も無くなりました。私達は性交渉も無くなり、共に床に入る事も無くなりました。私は彼女が誰かと恋愛関係にあるのではないかと感じ始めました。この事を彼女に尋ねると、彼女はそのような事は無いと私に信じさせようとなりました。この現状と、他からの情報を合わせてみた結果、彼女が何も心配する必要はないと言っているにもかかわらず、なぜか私には不審でなりませんでした。私がこのように感ずるのは、何か私自身の内部に問題があるのではないかと思いはじめました。

欺かれている、等と言う思いは全く私の心に浮かびませんでした。そのような事は、私達二人の間柄で、両者共通の契りとして、“不可能”な事でした。大菩薩禅堂で、皆共に、貴方も含めて、誠実で嘘の無い精神を求めて経を読む我々には、あり得ない事でした。

私達は、■■■■へ戻り、■■■■は貴方との交情関係を自白しました。これを聞いて、私の即座の感じは私が完全に気が狂っていたのではなかったと言う安堵でした。私の懸念は当たっていたのですし、それが確認されたのですから。以来、この問題に関する様々な思いが起りました。私はその一部をここで話します。

この中で私にとって一番重要な部分は、欺きと言う事です。私は秘する事、機密と言う事の絶妙さは理解し、体験しています。しかしこの場合の秘する事には、秘事に純粹性が無く、続くものではありません。これは単に、徹底した欺き、虚偽であり誤摩化しです。苦痛と受難と、信頼の消滅の根源である欺きと虚偽でしかありません。私達は皆この苦痛と受難から救われようと、又これを増加させないようと試みているのです。貴方が弟子達に仏教徒であるよう諭し、戒を守るよう勧め、又同時に貴方自身秘密の内にこれを破っている事を、私はこの事をどのように両立させ得るのか不可解です。

貴方個人の欲望を満たす為に、師弟間のなくてはならない信頼が、意識的又は無意識的に利用されたのではないかと私は推量します。貴方ばかりでなく他の誰でも、愛、セックス、情と言うものに対する個人的欲望を持っている事は、認めざるを得ません。しかし、■■■■に対した時、独参室を利用し、貴方の地位を利用して、貴方の欲望を満たした事は、師弟間の本来の信頼を犯したものと私には思えます。

貴方は、八日から十日に渡り、女性同伴の夜を、 と共に過ごし大いに危険を犯しました。第一に、貴方は彼女の心の平安を危うくしました。この事による彼女の苦痛を、私は思いやります。彼女は、結制のためにDBZへ行ったのであって老師の妾になる為ではなかった筈です。ある意味では、彼女は多分、座禅に集中出来ず、瞑想を深める事を誤摩化していたかもしれません。そうでないかもしれませんが。私の感じでは、彼女の座禅や独参は、心労と、これらの状況に影響された結果、弱いものであったと推察します。彼女には彼女の責任があるとはいえ、この一部は、師の立場として欲望に負けず、ある程度、セックスの限界を心得る義務を負っているのではないかと思います。

貴方は“事件の発覚”とその結果降下する様々な僧伽内での問題、又、 の共同生活を危険に晒しました。以前にも貴方には経験のあることですが、このような噂話は非常に早く広まるものです。ここの何人かの人々や、DBZの人々は既に知っています。僧伽にとってどの程度の損傷をもたらすかは、事件の進展と貴方がどのように処理して行くかに関わってきます。

貴方は私自身の貴方との関係、それと僧伽との関係を危ういものにしました。現在、この状態で、私はこのまま貴方の弟子として継続して行けるかどうか、疑問です。私は再び、DBZへ戻って修行出来るかどうか分かりません。怒り、傷ついた今の段階で、私は貴方個人の、又は、禅スタデイ ソサイエティの財政問題に些か通じており、これを武器として使用することも考慮の内にあります。これは貴方が私の手紙に対してどのような態度を示すかに関わってきます。私は貴方が日本へ発つ前に、望ましくは電話で返答を欲しいと思います。

貴方は貴方が生涯かけた仕事を薄弱化する危険に晒しています。なんと言う代償であろうか。原因と結果の終わりなき回帰であろうか。私は自問するのですが、“老師の欲望を満たすために、なんと大きな犠牲を払ったものよ、高が、2～3時間のセックスではないか？”この同じ問いを貴方自身に問うてみて下さい。

私は貴方の事が気になり、心配もしています、老師、私の心は貴方の為に痛みます。貴方の個人的欲望は結局の所、満たされはしなかったのではないかと言う思いに私の心は悲しくなります。貴方は多くのものを人びとに与え、それに匹敵するだけの代償を要求しているのかもしれませんが、詐欺だけは止めたが良い。貴方の必要なものがどうしても公然とは得られなくても、どうか詐欺と虚偽に頼る事だけは止めて欲しい。どうか、他の解決法を、開放的で、貴方を敬慕する我々をも含めた解決法を見つけて欲しいと思います。

この状態は、私達全員にとって大きな問題ですが、真剣に自らを見つめ直す機会を与えられたのであるとも言えます。これは大きな贈り物を賜ったと言う事です。私達それぞれがいかにこの問題に対決して行くか、残された課題です。

大いなる愛と配慮と好意を込めて、

